

修正箇所

該当箇所（修正後の章 節項、ページ）	修正前	修正後
はしがき	「流出」	「流失」
目次		ローマ数字のページ番号を追加した。
目次		ページ番号・ページ数を本文にあわせて一部修正した。
目次、ii	「(b)宮城県 美里町」	「(b)宮城県遠田郡美里町」
目次、ii	「(e-1)宮城県・・・周辺の被害」	「(e)宮城県仙台市」
目次、ii	「(e-2)宮城県仙台市青葉区」	削除
執筆分担		ローマ数字のページ番号を追加した。
1、1-1	「流出」	「流失」
3.4、3-7		表3.4-1中の住宅等の被害のデータを、警察庁公表資料の4月20日付けから5月30日付けに変更した。
5.2.2(e)、5.2-21～26		仙台市太白区と青葉区にわけて記載していたものを、タイトルを宮城県仙台市に統合してまとめた記載に変更した。文章を前後入れ替えたため写真番号に一部変更があるが、記載文章に変更はない。
5.3.4(2)、5.3-5		ラチス柱の斜材の座屈についての記載を追記した。
5.3.6、5.3-13		写真5.3-18を追加した。
6.3.1、6-30		図6.3.1-1に調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6.3.2、6-33		図6.3.2-1に調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6.3.2、6-34	「最大浸水深は9.5m」	「最大浸水深は6.8m」

6.3.3、6-36		図 6.3.3-1 に調査建築物データベースの建物番号を記載した。
		図 6.3.3-2 に調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6.3.4、6-40		図 6.3.4-1 に調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6.3.5、6-44		図 6.3.5-1 に調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6.3.5、6-48	「地上約 18~20m」	「地上約 12.6m」
6.3.6、6-58		図 6.3.6-1 に調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6.3.7、6-61		図 6.3.7-1 に調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6.3.8、6-65		図 6.3.8-1 に調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6.3.9、6-72		図 6.3.9-1 に調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6.3.10、6-75	節のタイトル「宮城県仙台市」	節のタイトル「宮城県仙台市若林区、宮城野区」
6.3.10、6-76		図 6.3.10-1 に調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6.3.10、6-85		図 6.3.10-2 に調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6.3.11、6-90		図 6.3.11-1 に調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6.3.11、6-99		図 6.3.11-2 に調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6.3.13、6-107		図 6.3.13-1 に調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6.3.14、6-115		図 6.3.14-1 に調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6.4.3、6-127	「最大浸水深が 4m 以上の場合(=2 階建木造建物では 2 階床高さ以上の最大浸水深となる場合)、平屋もしくは 2 階建木造建物で残存している例は極めて少なかった。被害形態としては基礎と土台のみを残し上部構造が流失する、あるいは土台も流失し基礎のみ残る例などが多数確認された(写真 6.4.3-1~6.4.3-2)。」	「最大浸水深が 2 階軒高さ以上となる場合、平屋もしくは 2 階建木造建物で残存している例は少なかった。被害形態としては基礎と土台のみを残し上部構造が流失する、あるいは土台も流失し基礎のみ残る例などが多数確認された(写真 6.4.3-1~6.4.3-2)。さらに、基礎ごと流失した例も確認された。」

6.4.3、6-128	「一方、最大浸水深が1~2m程度の場合は、ほとんどの木造建物が残存していた（写真6.4.3-3）。構造躯体に被害が生じているものは、津波波力によるものではなく漂流物の衝突によるものと考えられる。」	「一方、最大浸水深が1階腰壁高さ程度以下の場合は、ほとんどの木造建築物が残存していた（写真6.4.3-3）。」
6.4.3、6-128		写真6.4.3-3をより鮮明な写真に差し替えた。
6付録-2		調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6付録-6		調査建築物データベースの建物番号を記載した。
旧6付録-8	建物番号 OT-2	削除
6付録-11		調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6付録-16	建物番号「KI-5」	「KI-6」、最大浸水深の記載内容を変更した。
6付録-17	建物番号「KI-6」	「KI-5」
6付録-18		調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6付録-25		調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6付録-32		調査建築物データベース（RT-06）を追加した。
6付録-44		写真2を差し替えた。
6付録-53		調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6付録-57		調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6付録-59、60		写真1、4、6、9を追加した。
6付録-61		写真1、2を追加した。
6付録-62、63		写真1、4を追加した。
6付録-64		最大浸水深の記載内容を変更した。写真4を追加した。
6付録-65		写真1、2、3を追加し、旧写真1を差し替えた。
6付録-66		調査建築物データベースの建物番号を記載した。

6 付録-68		写真 4 を追加した。
6 付録-79		調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6 付録-80～85		調査建築物データベース（IM-01～IM-05）を追加した。
6 付録-86		調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6 付録-88		地図を差し替え、調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6 付録-93		地図を集約、差し替え、調査建築物データベースの建物番号を記載した。
6 付録-112		地図を差し替えた。
6 付録-115		地図を差し替えた。
7.3.1、7-7	「消防本部」	「消防局」
7.3.12、7-14	「裸木造」	「木造」
7.3.12、7-14	「地面落下」	「地面に落下」
7.3.15、7-16	「火災発生初期から・・・消火活動が行われた。」	削除
8、8-1	「鉄筋コンクリート造」	「鉄筋コンクリート造等」
8、8-2	「道路や上下水のインフラも考慮した対策の検討が必要である。」	「道路や上下水のインフラも考慮した対策の検討が必要であろう。」
8、8-2	「津波被害地域に以外の地域」	「津波被害地域以外の地域」